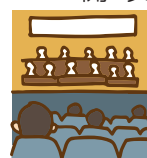


総代・運営委員会合同研修会



1月21日、かごしま県民交流センターで合同研修会が開かれ、午前の部(南部・中央ブロック)109人、午後の部(北部ブロック)118人が出席しました。



合同研修会では、村山眞一郎組合長のあいさつのあと、畜産管理部長が令和2年度の事業概況報告として各事業の取り組みや活動、事業実績について報告しました。また、令和3年4月30日をもって総代の任期満了になることから①総代の資格や主な権利・義務②総代の任期③総代の選出方法④総代定数⑤女性総代の登用促進⑥総代選出スケジュールについて説明がありました。



畜魂祭

2 畜魂祭

1月15日、鹿児島中央家畜市場で家畜の命を頂くことに感謝し、魂を慰める畜魂祭が開かれました。畜魂祭には畜産農家ははじめ関係者ら50人が出席し、牛への感謝の念を込めて玉串を奉納し手を合わせました。関係者らは畜魂祭に伴い畜産の一層の発展を祈ったほか、後世に肉用牛への感謝を伝えたいとの思いを込め、感謝と鎮魂の気持ちを持って供養しました。



2 畜魂祭

カボチャの播種はじまる

1月14日、育苗センターで年明け最初のカボチャの播種作業が始まり、「エビス」や「くりゆたか」のほか、試験用の「栗五郎」の3品種5000本の種を蒔きました。

同センターでは、年間を通じてカボチャや白ネギなど15種類の野菜苗等を作り、生産部会や購買店舗用の苗を育苗しています。

ハウスでは、職員らが品種ごとに苗ポットの色を変え、流れ作業で土を入れ、水を含ませたあと土にくぼみを作り、1粒ずつ向きを確認しながら手作業で播種を行いました。

